

平成22年度 県内主要夏まつりにおける観光客入込数

(単位：千人、%)

	区分	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	前年比	平成22年開催期間	平成21年開催期間	平成22年増減理由・その他	平成21年増減理由・その他
7月 中旬 ～ 下旬	八戸七夕まつり	368	370	418	280	370	380	320	390	121.9	7/16～7/19	7/17～7/20	会期中天候に恵まれた	7/18雨天中止
	十和田湖水まつり	85	75	78	63	48	61	44	80	181.8	7/17～7/18	7/18～7/20	両日とも天候に恵まれた。	(7/19大雨により主な屋外イベントは7/20に延期、花火は18、20)
	東北町 湖水まつり	70	200	200	70	230	255	250	80	32.0	7/24～7/25	7/25～7/26	メインイベントの花火打ち上げ時に、天候が思わしくなく近隣町村では雨が降り、誘客の足止めとなった為、昨年より約1/3となった。	曇り時々小雨だったのが花火打ち上げ時は晴れて入込は昨年並み。
	みさわ七夕まつり	185	202	149	135	163	132	133	175	131.6	7/23～7/25	7/24～7/26	会期中天候に恵まれた	3日間くもり時々雨
	4祭り計	708	847	845	548	811	828	747	725	97.1				
8月 月上旬 ～ 中旬	八戸三社大祭	893	929	1,087	1,113	1,093	1,058	1,188	1,038	87.4	7/31～8/4	7/31～8/4	・従来の8月2日の山車合同運行がなかった。(8月4日に運行) ・期間中の天候が不安定だった。 ・NHK大河ドラマ出演者の招請がなかった。	
	弘前ねぶたまつり	1,730	1,610	1,440	1,660	1,680	1,690	1,580	1,630	103.2	8/1～8/7	8/1～8/7	会期中の前半は雨が降ったが、後半は天候にも恵まれ、合同運行が毎日行われるようになった昭和50年以降、最多の84団体が参加した。	最多の82団体が参加
	青森ねぶた祭	3,630	3,350	3,340	3,370	3,100	3,190	3,300	3,200	97.0	8/2～8/7	8/2～8/7	初日と2日目が悪天候だったこと、夜の運行がすべて平日だったことによる減。	
	五所川原立佞武多	1,380	1,620	1,690	1,720	1,660	1,630	1,730	1,805	104.3	8/3花火大会、8/4～8/8 立佞武多	8/3花火大会、8/4～8/8 立佞武多	祭り後半が土日であったこと、および昨年開催された「天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典」に立佞武多が出陣し、全国にPRした効果によるものと考えられる。	
	4祭り計	7,633	7,509	7,557	7,863	7,533	7,568	7,798	7,673	98.4				
8月 中旬 ～ 下旬	藤崎夏まつり	180	130	94	101	81	71	72	86	119.4	8/2～5ねぶた合同運行 8/7ながしこ 8/20津軽花火大会	8/2～5ねぶた合同運行 8/7ながしこ、 8/20津軽花火大会	開催日が週末となった花火大会の入り込みが伸びたことによるもの	
	黒石よされ	190	175	75	75	80	100	120	98	81.7	8/14～20	8/14～20	開会式や流しの日が雨になったため	
	田名部まつり	108	95	98	99	90	86	95	97	102.1	8/18～20 8/18 吉幾三コンサート	8/18～20 8/18 吉幾三コンサート	会期3日間とも天候に恵まれた	
	三沢まつり	90	99	108	130	152	115	140	154	110.0	8/19～8/22	8/20～23	会期中天候に恵まれた	会期中天候に恵まれた
	4祭り計	568	499	375	405	403	372	427	435	101.9				
合計		8,909	8,855	8,777	8,816	8,747	8,768	8,972	8,833	98.5				

八戸三社大祭には、大祭期間中に開催される「騎馬打毬」と「お祭り広場」の入込数を含む。

青森ねぶた祭には、8月7日の「花火大会」と「海上運行」の入込数を含む。

五所川原立佞武多には、8月9日の五所川原花火大会への入込数を含む。